

宇都宮 文化財めぐり 毛テリコース

鬼怒川と街道の文化コース (約12km)



鬼怒川に沿ってめぐるコースです。

清泉寺では、「薬師堂」などのほか県指定「木造阿弥陀如来立像」があります。「下小倉下組大杉」と「下ヶ橋三ツ股カヤ」は五十里洪水にちなむ天然記念物です。東言沼神社には「本殿」「東言沼神社大杉」があります。養膳寺跡は源義経止宿の伝説があり、西下ヶ橋彫刻屋台収蔵庫が隣接しています。白沢宿は奥州街道の第一宿で江戸時代の町割のなごりが見取れます。「岡本城跡」は、中世宇都宮氏の支城の1つとされています。

山星の伝統文化コース (約5.5km)



この地域を特徴付ける、丘陵地帯にある民俗文化財をめぐるコースです。

逆面城跡は中世宇都宮氏の支城の1つとされています。「逆面獅子舞」と「中里西組獅子舞」は関白流の獅子舞で、「関白獅子舞」が始祖になります。逆井戸は下野薬師寺に配流された道鏡の顔が逆さに映ったという伝説があり、このあたりの地名の由来となったといわれています。

